

福祉としての防災を考える

～防災力＝地域力を、人が持つ「福祉力」で支える～



現地会場 参加+ZOOM オンライン参加 併用 (要申込下記参照)

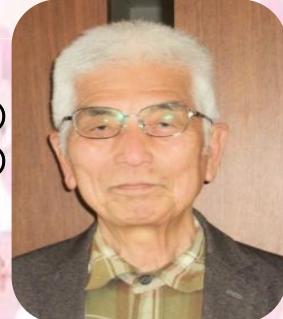
(談義オンライン入室 14:50~)

2026年2月19日(木)

① 定例会 13:30~14:45 (意見交換)
② 防災まちづくり談義の会 15:00~16:30 (質疑応答)

会場: かながわ県民活動サポートセンター(県サポ) 講義室1

講師: たなか あきら
田中 晃 氏



プロフィール: 防災塾・だるま理事。現場第一、段取ハーフの実務家。福祉施設の安全安心を推進。

講演要旨

地域活動や防災活動を支えているのは、目に見えにくい「福祉力」ともいえます。これをハードとソフトの関係として捉えると理解しやすいでしょう。

一人ひとりの福祉力は、日々の小さな活動の積み重ねによって育まれ、その結果が本人の幸福感(納得感)につながります。

今回取り上げる介護保険制度では、自身の健康状態や生活状況に合った生き方をケアプランとして整理し、自らの活動を通して幸福感を得る仕組みがあります。これは、人間の営みそのものです。

この視点で災害現場を捉え直し、「福祉力」をより良い支援につなげられないか—その整理を試みます。

人間の営みには矛盾や揺らぎもあります。だからこそ、臨機応変に想像力を働かせ、現場に即した災害対応へ結びつける一助になれば幸いです。

開催趣旨

災害時には高齢者をはじめとする災害弱者が、災害関連死などのリスクにさらされます。本会はこの課題に継続して向き合ってきましたが、田中氏が語る「福祉力」「幸福感」「ケアプラン」といった視点は、災害弱者への防災の根幹に関わる重要な経験知です。

本講演を通してその学びを会員と共有し、今後の実践につなげたいと考えます。(塾長)

主催 「防災塾・だるま」(ホームページ) <http://bosaijuku-daruma.com/>

対象 本会会員・一般 受講料無料 (2025年6月1日よりHP移設しました)

参加方法 会員 現地またはZoom参加(会員MLで設定を配信) 会員以外の方は下記のリンクから、会場参加・リモートの選択をし、参加申し込みをお願いします。

折り返しZoom設定の案内をお送りします(資料の内容は、HPでほぼ参照できます)



● 「防災塾・だるま」第211回 防災まちづくり談義の会

● 申込みフォーム <https://forms.gle/xoN2yVS5vZNtpPr29>

県民サポートセンター
アクセス QRコード

次回: 第212回「防災まちづくり談義の会」横浜まちあるき

日時: 2026年4月16日(木) 9:30~11:30 (9:30石川町駅南口集合/参加人数制限あり)

テーマ: 関東大震災の大規模土砂災害地点を歩く～石川町駅周辺の大丸谷～

講師: 相原延光氏

編集 田中喜世美